



いずみさの

No.191  
2024.8.1

# 市議会だより



## New Topics

一般会計補正予算を可決しました  
原油価格高騰対策事業者支援金事業  
健康づくり事業  
長寿者祝賀事業 など

## 目 次

- ◆ 6月定例会の結果報告..... 2~4
- ◆ 一般質問 ..... 5~9
- ◆ ご案内.....10

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 泉佐野市議会

検索



# 6月定例会議を開催

議案  
第46号

## 令和6年度泉佐野市一般会計補正予算 (第2号)

可決  
全会一致

今回の補正予算額は歳入歳出それぞれ7億1,535万1千円を追加するものです。

各委員会での審議の結果、委員会・本会議ではいずれも異議なく可決されました。

各委員会に付託された主な案件は次のとおりです。

### 総務産業委員会関係

令和4年度12月補正予算に続き、市独自事業として原油価格高騰対策事業者支援金を給付

- ・原油価格高騰対策事業者支援金事業（市内中小企業等や個人事業主が使用する軽自動車から大型特殊自動車までが対象） 220,000千円

給付額：軽自動車10,000円/台、普通自動車20,000円/台、中型・準中型自動車30,000円/台、  
大型・大型特殊自動車50,000円/台

- ・農業振興補助事業（市内農業者や漁業者が使用する農業用機械や船舶が対象） 19,710千円

給付額：農業用機械10,000円/台、船舶50,000円/隻

- ・都市公園整備事業（ボール遊びが可能な公園「ボールパーク」の整備） 12,000千円

- ・庁舎等整備事業（市役所向かいの未利用となっている市場消防署跡地を駐車場として整備）

46,600千円

### 厚生文教委員会関係

- ・健康づくり事業（健康増進活動支援として、地域ポイント「さのぼ」を国民健康保険被保険者一人あたり5,000ポイント付与） 111,443千円

- ・長寿者祝賀事業（令和6年9月1日時点で90歳以上の方へ1万円の祝金支給） 18,749千円

- ・予防接種事業（65歳以上の高齢者・60歳以上65歳未満で基礎疾患を有する方を対象に、  
新型コロナウイルスワクチンの接種補助・自己負担額3,000円） 210,104 千円



今回の補正予算額は歳入歳出それぞれ308万5千円を追加するものです。

内容としては、令和6年12月2日の国民健康保険被保険者証の廃止にあたり、本年10月の保険証更新時に同封する「マイナ保険証」利用勧奨リーフレットの印刷費及び以下のものを送付するためのシステム改修委託料です。

- ・マイナンバーカードを「マイナ保険証」として利用できない方への「資格確認書」
- ・マイナンバーカードを「マイナ保険証」として利用できる方への「資格情報のお知らせ」
- ・加入者への「加入者情報（マイナンバーの下4桁など）のお知らせ」



## 議決結果一覧表

### 全会一致で可決された案件

| 議案番号   | 案 件                                                                             |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 議案第41号 | <p>期末手当の支給割合の特例に関する条例制定について</p> <p>令和6年6月に支給する期末手当に関する条例制定の議案。</p>              |
| 議案第42号 | <p>泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>「地方税法等の一部を改正する法律」の施行等に伴い、市税条例の一部を改正する議案。</p> |
| 議案第43号 | <p>字の区域の変更及び町の新設について</p> <p>字の区域を変更し、町を新設（貝田町一丁目から四丁目）する議案。</p>                 |
| 議案第44号 | <p>損害賠償の額を定めること及び和解について</p> <p>公用車による事故についての損害賠償の額と和解についての議案。</p>               |

| 議案番号    | 案 件                                                                                |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 議案第45号  | 泉佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について<br>市場東地区 地区計画の変更に伴う条例改正議案。            |
| 議案第48号  | 人権擁護委員候補者推薦についての意見を求めることについて<br>人権擁護委員候補者に、中村 初美さん、池内 正枝さん、北庄司 知之さんを推薦することに同意しました。 |
| 議員発議第8号 | 地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書の提出について                                             |
| 議員発議第9号 | 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書の提出について                                                   |

## 議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

| 議員名<br>議案名 | 新緑未来  |       | 正道の会  | チーム泉佐野創生 |        |       | 大阪維新の会 |         |        |       | 再生市民の会 | 自民党   |       | 共産党   | 公明党   |      |       |       |
|------------|-------|-------|-------|----------|--------|-------|--------|---------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
|            | 中藤 大助 | 布田 拓也 | 中村 慎作 | 向江 英雄    | 大和屋 貴彦 | 野口 新一 | 新田 輝彦  | 日根野谷 和人 | 射手矢 真之 | 峰浦 修平 | 中庄谷 栄孝 | 西野 辰也 | 高橋 圭子 | 高道 一郎 | 岡田 昌司 | 辻中 隆 | 大庭 聖一 | 松村 正秀 |
| 議長         |       |       |       |          |        |       |        | 副議長     |        |       |        |       |       |       |       |      |       |       |
| 議案第47号     | —     | ○     | ○     | ○        | ○      | ○     | ○      | ○       | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ×     | ○     | ○    | ○     | ○     |

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対



# 一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」または、「会議録検索」（9月末日配信予定）をご覧ください。



◀ 議会中継のQRコード

公明党  
泉佐野市会議員団 代表  
**松村 正秀** 議員



## 手話言語条例後の今後の取組について

**Q** 手話言語国際デーに「手話が言語である」ことを周知啓発するイベントにブルーライトアップがあります。日本国内の多くの自治体でも行われています、本市でも実施して欲しい。

**A** 毎年9月23日の「手話言語国際デー」に合わせて各地でブルーライトアップする動きがありますが、本市においての実績は未だありません。今後は世界自閉症啓発デー、世界メンタルヘルスデー、障害者週間などの福祉分野をはじめとして、他分野の様々な記念日における各地での取組状況も参考に、どのような取組であれば本市において効果的に事業実施できるのかどうか府内あるいは周辺市町村の状況も勘案し検討していきたいと考えています。



- ・福祉について
- ・教育について
- ・環境衛生について
- ・健康について
- ・防災について

**Q** 公共インフラとして電話リレーサービスが開始され、お店や病院の予約等、聴覚障がい者の方が自分で出来るようになりました。しかし、知らない、使用した事が無い方がまだまだ多く、市民の方に周知して頂きたい。

**A** 電話リレーサービスは聴覚や発話に困難がある人と、聴覚障害等以外の人との会話を通訳オペレーターが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、24時間365日、電話で即時双方向につながる事ができる、公共インフラとしての有料のサービスです。令和3年7月から始まったばかりのサービスであり、ご存知でない方も多いと思われます。本市の啓発パンフレットでもご紹介していますが、さらなる周知をはかっていきます。



## 防災備品の備蓄について

**Q** 能登半島地震では、携帯トイレが備蓄されていたが全く足りず、発災当初は大変な問題となった。本市ではトイレトレーラー、マンホールトイレの整備が進んでいるが備蓄は大丈夫でしょうか。

**A** 携帯トイレについては能登半島地震の教訓をもとに被災地支援分の補充と追加分を合わせて、20,000個を購入し、現在50,000個を備蓄しています。想定される必要数は中央構造線断層帯地震の想定避難者数11,874人に対し断水率58.5%をかけた1日5回3日分となると104,194個となりますが、現在整備中のマンホールトイレが完成し、発災直後から使えるようになれば、約70,000個の携帯トイレが必要なくなりますので、現在の備蓄量で対応できるものと考えています。



自由民主党

泉佐野市会議員団

代表

西野 辰也

議員



・ふるさと納税について  
・地域猫について  
・災害対策について

## 地域猫について

**Q** 今後の地域猫活動は市の協力が  
必要と思うが市の考えは。

**A** 本市では、公益財団法人どうぶつ基金が発行する無料不妊・去勢チケットのボランティア団体への配布や、市役所での地域猫活動のパネル展開催などにより、地域猫活動を支援しています。地域猫活動は、

短期間で効果が現れるものではなく中長期的な取り組みが必要であり、地域コミュニティの理解と協力が欠かせないことから、公益財団法人どうぶつ基金との協働やボランティア団体との連携、さらには市独自の助成制度の活用により地域猫活動を引き続き支援し、他の自治体の事例を参考にしながら地域猫活動の支援のあり方を調査・研究していきます。



## 防災における町会の役割について

**Q** 自主防災組織の避難計画と町会館の耐震性について教えてください。

さい。

**A** 各自主防災組織が独自に冊子に取りまとめた避難計画はありませんが、市域全体の避難対策の基本事項を定めた「津波・河川氾濫に対する避難計画」を本市が策定する際に津波や洪水で避難が必要な8地区で「地区別避難計画」を作成し、市の避難計画に掲載しています。また、市内の町会が管理する町会館等87施設のうち、現行の耐震基準を満たしているものが54施設、昭和56年以前の旧耐震基準のものが13施設、建設年度不明のものが20施設となっています。



大阪維新の会

泉佐野市会議員団

代表

新田 輝彦

議員



・学校教育について  
・社会教育について  
・再生可能エネルギーについて

## 小学生、中学生の制服について

**Q** 新学期が始まった頃は冬の制服でしたが、徐々に暑くなってきましたと夏服へと変わっていくのですが、地域の方から冬の制服を着ている子供さんも見かけるといふことで質問を頂きました。学校には衣替えの時期は無いのですか？お尋ねいたします。

**A** 制服の夏服・冬服を着用する時期については、各学校の教育計画等にだいたいの目安は示されていますが、明確に時期を指定するものではなく、気温や健康状態に応じて着る服を選択するように示されており、各校のホームページ等を通じて周知しています。

**A** 稲倉野外活動センターに隣接して民間の事業者がグランピング施設を建設し開設後は稲倉野外活動センターの管理もして頂けると聞いていましたが現在も閉鎖したままになっています。今後、稲倉野外活動センターをどの様に活用する予定か

## 稲倉野外活動センターについて

**Q** 稲倉野外活動センターについて

ため池としての太陽光発電について

お尋ねいたします。

**A** 稲倉野外活動センターについては、民間運営に移行するため、令和3年8月、プロポーザル方式による最優秀事業者を決定し、翌年2月、基本協定を締結しました。その後、アフターコロナのニーズに応えるような事業内容について本市と事業者で再度協議した結果、大規模な整備を行うこととなり、今後は土地改良区など関係機関の合意を得て、法に基づく許可申請を行っていきま

## ため池での太陽光発電について

**Q** ため池として水の供給や保水機能も果たしながら補助金が入り農地管理費用の一助になり農地やため池の管理に悩む農家の方々には朗報と期待していました。最近ではため池への太陽光パネル設置の事業は進んでいないのでしょうか？お尋ねいたします。

ため池として水の供給や保水機能も果たしながら補助金が入り農地管理費用の一助になり農地やため池の管理に悩む農家の方々には朗報と期待していました。最近ではため池への太陽光パネル設置の事業は進んでいないのでしょうか？お尋ねいたします。

・JR熊取駅西地区について  
ふるさと納税について  
・eスポーツについて

**A** ため池での太陽光発電事業は、民間事業者が発電事業主体となり、建設費用の一部を国の補助金で賄うことにより事業収支を確保するもので、令和5年6月からは長滝の植田池・穂波池・貝之池、令和6年1月からは日根野の郷之池、2月からは鶴原の庄田池で事業を開始しました。これにより、売電先の一般財団法人泉佐野電力が電力供給契約をしている民間需要家や公共施設の使用電力量を賄えることになりました。新たな発電事業を実施するには、国の補助要件を満たすため新たな電力の需要家が必要となりますが、その確保が困難であり、新たな水上太陽光発電事業が実施できていない状況です。

## eスポーツについて

**Q** 近年、高齢者が脳のトレーニング等のためにパソコンを習うということも見受けられ、eスポーツもキータッチや新たな学習という意味では同じで高齢者がeスポーツを通じて健康づくりに役立つのではと考えますがいかがでしょう

か？お尋ねいたします。

**A** 令和元年度の経済産業省委託事業「eスポーツを活性化させるための方策に関する検討会」報告書では、高齢者や障害者のeスポーツへの参画を促進する施策について提言がなされ、本市ではこれらも参考にしながら、eスポーツ事業を実施し、その社会的意義の実証にも取り組んでいます。昨年度は高齢者を対象に、将棋や囲碁のようなパソコン上のボードゲームを用いたイベントを4回実施しました。他の自治体でも高齢者の健康づくりにeスポーツを活用する事例が見受けられますが、それらはすべて実証実験であり、効果検証については、しっかりとデータを積み上げてから分析していく必要があると考えます。本市では、今年度、高齢者施設を訪問してeスポーツを体験してもらう事業の実施を予定しており、認知機能の維持・改善の効果や、身体に与える影響などについて、可能な限り把握しながら進めていきます。



新緑未来 代表  
**布田 拓也** 議員



## 新設庁舎別館工事費が57億円から109億円に拡大した要因は？

**Q** 昨年3月の説明では57億円の概算工事費だったのが今年3月には109億円に拡大したと説明。高くなりすぎている。拡大の要因は？

**A** 令和4年度の基本計画における事業費約57.2億円が、施設整備費の増加などにより令和5年度の基本設計では約109.4億円になりました。増加の主な要因は、構造を耐震構造から、より耐震性が高く防災拠点機能を維持できる柱頭免震構造に変更したことに伴い、6階建から7階建となり延床面積が増加したことや、地盤調査の結果、地下30mまでの基礎杭が必要となったこと、また、立体駐車場について、用途地域が基本計画段階では「第一種住居地域」であったため2階3層までの建築物しか建設できませんでしたが「近隣商業地域」となったため、3階建の建設が可能となりそれに伴うことなどによりです。

今後につきましては実施設計業務とコスト管理等を行うCM(コンスト

・新設庁舎の工事費が57億円から109億円に拡大した要因について  
・オーガニック給食の取組内容とシティセールス及び今後について

ラクトマネージメント)業務を並行して発注し、工事費について十分に精査します。

**Q** 田辺市本庁舎は泉佐野市別館建築面積の2.59倍だが建築費は85億円。泉佐野市本庁舎は築50年で雨漏りも。本庁舎と合わせて建て替えを検討した方が良いのではないですか？田辺市規模で収まるのでは？

**A** 本庁舎も同時に建替えるとなるとと広大な敷地が必要になりますし、現地建替えとなると、なおさら余剰地の確保は難しく、本庁舎の同時建替えは困難な状況です。また、本庁舎については、平成28年に耐震改修工事を行い、市としては、以降30年使い続ける判断をしていますので、本庁舎の建替えについては考えていません。



| 施設整備費  | 令和5年3月時 | 令和6年3月時 | 増加額   |
|--------|---------|---------|-------|
| ①調査費   | 0.2億    | 1.7億    | 1.5億  |
| ②設計費   | 2.5億    | 3.7億    | 1.2億  |
| ③工事監理費 | 0.6億    | 0.9億    | 0.3億  |
| ④新築工事費 | 50億     | 96億     | 46億   |
| ⑤改修工事費 | 0.8億    | 2.8億    | 2.0億  |
| ⑥解体工事費 | 1.1億    | 1.5億    | 0.4億  |
| ⑦備品調達費 | 2.1億    | 2.8億    | 0.7億  |
| 合計     | 57.2億   | 109.4億  | 52.2億 |

※議会に提出された資料を元に算出。小数点第二位を四捨五入。

チーム泉佐野創生 代表  
野口 新一 議員



- ・泉佐野駅前ガム取り隊について
- ・支えあう地域福祉で防災力の向上について
- ・市有地の町会墓地管理について
- ・身体障害者福祉会について
- ・ふるさと納税日本一の次なる戦略は

泉佐野駅前ガム取り隊について

**Q** 2018年10月より月1回、第一日曜日にシンボリックであり交通の要衝である泉佐野駅のガム取りを続けています。感化と浄化に向けて教育委員会より、中学生生徒会へ参加の呼びかけをお願いします。

**A** ボランティア活動は大切な活動であるとして認識しており、学習指導要領や道徳教育の指導内容からもボランティア活動などの体験の充実が求められています。一方で学習指導要領では生徒会活動を行う際には、生活の中の課題の解決のために「自主的」に取り組むことが明記されており、子どもたちが主体的にとりくみを考え、選び、活動するものとされています。教育委員会としては以上の趣旨から各学校に対して、どのように周知し活動参加呼びかけを行うかも踏まえたうえで進めていきたいと考えています。



支えあう地域福祉で防災力の向上について

**Q** 能登半島地震において、共助で支える側も高齢化しており被災された自治体からは「助け合いにも限界がある」という声が上がっている。民生委員・児童委員や関係団体とともに地域防災力を高める協働の体制づくりをサポートいただきたい。

**A** 本市では「地域の絆づくり登録制度」を実施しています。本制度は支援が必要な人またはその家族から届出を受付し、登録した情報から市と地域の支援団体である自主防災組織や社会福祉協議会などと共有して災害時の支援体制づくりを行い、また日常からの見守り・声かけ活動を行うものです。さらに「災害に強いまち泉佐野」を目指す協働研修を実施し自主防災組織や民生委員児童委員等と事業所、地域包括支援センターの顔合わせを行い、災害時の動きや課題について共有し、つながりを作っています。



市有地の町会墓地管理について

**Q** 使用者の本人不在への対応について市が所有する土地で、町会が管理している共同墓地である場合、使用者の不明について、本人の所在地・連絡先等の個人情報の調査、墓石の撤去など、市としての協力はできないものか、お尋ねします。

**A** 町会墓地の管理について、管理や使用のルール・規定は町会により様々であると思われますが、個人情報保護法では「目的外利用・第三者提供の原則禁止」が規定されており、町会は個人情報保護法に規定する公的機関に該当しないため、市が町会に個人情報提供や墓地の撤去に関与することはできないものとなっています。社会的には「墓じまい」の風潮や墓地に対する考え方も多様化していることから、墓地管理に関するご相談もあろうかと思えますので、可能な範囲で協力させていただきよう考えています。



大庭 聖一 議員

・教育について



教育について

**Q** 第三中学校で行っている、NINOやNRTを導入して先生と生徒の信頼関係向上に活用しませんか？

**A** 第三小学校の「コグトレ」や日根野中学校の「ハイパーQU」等、児童生徒の状況を把握する取組みについては、各校の判断で行っています。今後も、各校への校内研修や各担当者会等の機会を活用し、各校の実態に応じて児童生徒の状況を丁寧に把握できる取組みについて推進していきます。



**Q** アカペラグループのヒューマンノートが主催する音楽体験できる授業を泉佐野市でできませんか？

**A** ヒューマンノートは芸術鑑賞会や人権教育、被災地支援活動、国際理解による海外活動等、多面的に活動している団体で、子ども達と一緒に歌う参加型コンサートも行っています。本市としても、新たな取組みとして今後検討していきます。

## 中庄谷 栄孝 議員

- ・学校制服のリユースについて
- ・塾代助成の補助について



### 学校制服のリユースについて

**Q** 学校や地域、販売店等に協力を呼びかけ制服のリユースを市の事業として進めることはできないか。

**A** 多くの学校では卒業時に制服の寄付を募り、集まった制服を無料で配布・貸出をして再利用に取り組んでいます。各校で寄付される制服はそれほど多くはなく、再利用できる制服にも限りがあることから、教育委員会としては従来の方法が最も効果的だと考えています。



### 塾代助成の補助について

**Q** 要綱には10月分から適用とあるが、10月分を9月に支払った場合は対象外というのは納得がいかないとのご意見をいただいたが。

**A** 塾代など月謝を徴収するタイミングは事業者により異なることから、実際に月謝を徴収した月を基準として助成しています。したがって、10月分の月謝であっても9月に支払いをされた場合は助成対象となります。ご理解いただきありがとうございます。

## 高道 一郎 議員

- ・中学教科書の選定について
- ・小中学生の万博無料招待への対応について



### 中学教科書の選定について

**Q** 今年は中学教科書選定の年。育鵬社「公民」の教科書は非核平和都市宣言をしている本市にそぐわない。今年は適正な決定を。

**A** 教科書選定審議会では、教育委員会からの諮問を受けて、7月から8月に4回程度協議を行い、8月の臨時教育委員会議で答申を出す予定です。教育委員会はこれを受けて、教育委員で協議し、最終的には多数決により、本市にとってふさわしい教科書を採択します。

### 小中学生の万博無料招待への対応

**Q** 府は小中学生を遠足と位置づけ万博に無料招待しようとしている。遠足は強制か？安全の確保は？

**A** 大阪府によると「参加については強制するものではなく、各学校で判断いただくもの」としています。教育委員会としては、子どもたちが安全に活動できることが最優先であり、今後、関係機関から来場者の安全確保の対策が示されるものと考えています。

## 中村 慎作 議員

- ・学校部活動の地域展開について
- ・障害者支援法の加齢黄斑変性適用について
- ・空港利用客に、地元食材の地元消費を



### 障害者支援法の加齢黄斑変性適用

**Q** 総合支援法が難病等の対象疾病に指定しています。拡大読書器を使って新聞や本を読む事で、高齢者の健康寿命を延ばし介護財政にとっても有益だと思えますが。

**A** 本市要綱には、難病患者の給付用具に拡大読書器はありませんが、対象用具の見直しは適宜行っており、今後、当該疾患を患っている方への必要性も踏まえ、見直しを検討してまいります。

### 空港客に地元食材の地元消費を

**Q** 高級食材が地元でも消費される様にオンラインマーケティングを

**A** これまでも様々なイベントを開催し、地域食材を通じた本市の魅力発信に努めています。今年度は、国内外の多くの人々に本市の観光情報を見ていただくよう大阪観光局の観光アプリとの連携を計画しています。また、それに合わせ、泉佐野市観光協会や泉佐野シティプロモーション推進協議会の情報を取りまとめた観光情報サイトを構築していきます。

## 二元代表制

二元代表制とは、市長と市議会議員を住民が直接選挙で選ぶ制度です。市長は市民サービスを提供し、予算案を作成して市議会に提出します。市議会はその予算案や条例案を審議・決定し、市政の運営を監視します。これにより、市長と議会が対等な立場で市民の代表として相互にチェックし合いながら、住民サービスの向上を目指します。

国の議院内閣制と違い、この制度により、住民の意思が市政に反映されやすくなります。その目的は市民福祉の向上を図るため、相互に緊張感を持ち続け、それぞれの責務と使命を果たすことにあります。

## 豆知識



## 意見書・決議

2件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書の提出について

全会一致

(送付先) 内閣府特命担当大臣(子ども政策・少子化対策担当)、財務大臣



聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書の提出について

全会一致

(送付先) 厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(共生社会担当)、総務大臣



## 表紙の写真



開催までおよそ300日となった大阪・関西万博の概要や、その期間中における泉佐野市の取り組みなどについて本市成長戦略室の新谷大阪万博担当理事に、ご講演いただきました。

## 市議会を傍聴しませんか

### ◆9月定例会の日程表◆

- 9月 2日(月) 本会議(議案説明)
- 9月 4日(水) 総務産業委員会
- 9月 5日(木) 厚生文教委員会
- 9月10日(火) 決算特別委員会
- 9月11日(水) 決算特別委員会
- 9月12日(木) 決算特別委員会
- 9月13日(金) 関空りんくうまちづくり特別委員会
- 9月17日(火) りんくう総合医療センター対策委員会
- 9月18日(水) 行財政委員会
- 9月24日(火) 本会議(一般質問)
- 9月25日(水) 本会議(一般質問)
- 9月26日(木) 本会議

※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。  
※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

## 市議会だより編集委員

|      |      |       |      |      |      |      |     |
|------|------|-------|------|------|------|------|-----|
| 岡田昌司 | 高橋圭子 | 射手矢真之 | 中藤大助 | 野口新一 | 副委員長 | 中村慎作 | 委員長 |
|------|------|-------|------|------|------|------|-----|

●お問い合わせ

泉佐野市議会事務局

●発行 / 泉佐野市議会

〒598-8550 泉佐野市市場東1丁目1-1

●編集 / 市議会だより編集委員会

EX-11 泉佐野市市場東1丁目1-1

EX-11 gikai@city.izumisano.lg.jp

電話:072-463-1212 FAX:072-462-5918